

男女共同参画通信

GENDER EQUALITY NEWSLETTER BY WINGS KYOTO

October 2024
@KYOTO CITY

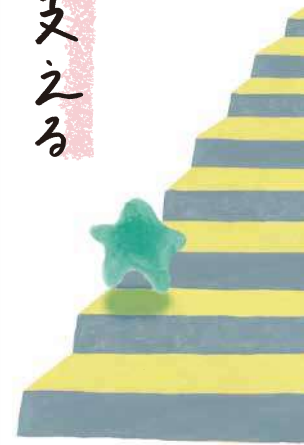
vol.58

新しい女性支援のかたち

— つながりながら歩みだす —



困難を抱える女性を支える



困難をいくつ抱えてる？

新しい法律の誕生をきっかけに、今、女性支援のあり方が変わろうとしています。

そこには、DVや家庭の問題、性的搾取や性被害、お金の問題等を複合的に抱えながらも支援から取り残され、困難から抜け出せない女性の存在があります。

そんな女性たちが必要な支援につながるために、私たちにできることは何なのか。一緒に考えてみませんか。

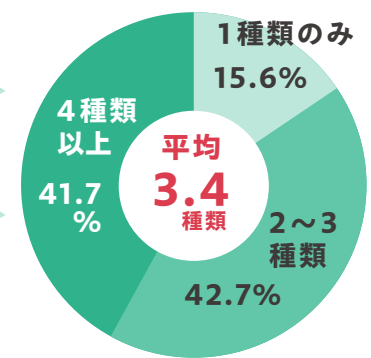


どんな困難を抱えてる？

困ったり、悩みを抱えた経験 (複数回答)

- 1位 健康に関わる不安や問題 76.2%
- 2位 家庭に係る問題 62.4%
- 3位 経済的な困りごと (仕事のことを含む) 56.5%
- 4位 職場や学校、地域での人間関係等 40.8%
- 5位 配偶者・パートナー・恋人から暴力を受けた 31.2% (DV・デートDV)
- 6位 家族から暴力を受けた 28.6% (配偶者・パートナー以外)
- 7位 住まいや居場所に係る問題 22.4%
- 8位 性的な被害や問題 21.8%

抱える困難の数



2~3種類、4種類以上をあわせると8割強の人が、複数の困りごとを抱えている！

4種類以上の多数の困難を抱えている人の割合は、30歳以下で5割弱と高くなっている。

出典：「令和5年度神奈川県困難を抱える女性に係る実態調査」(令和6年3月)

INTERVIEW インタビュー

札幌市困難を抱える若年女性支援事業

「LINK(リンク)」

思春期・若年期の女性に焦点を当て、先駆的にアウトリーチ型の支援事業に着手した札幌市。若年女性の困難に向き合う「LINK」の支援とは？

事業担当者

鈴木かおりさん
札幌市子ども未来局
子ども育成部

子ども企画課企画係長

事業受託者

橋本彩加さん
公益財団法人さっぽろ青少年
女性活動協会

札幌市男女共同参画センター



見落とされていた、ある若年女性の困難

事業を始めるきっかけとなったのは、令和元年に2歳の女児が衰弱死し、21歳の母親と交際相手が逮捕された事件です。再発防止に向けた検証の中で指摘されたのは、行政の協働・連携が不足していたことに加え、加害者である女児の母親もまた、支援が必要な少女だったという事実でした。10代で妊娠、出産、DV、中絶などの困難にさらされながら、行政の支援から取りこぼされていたことが明らかになりました。



自分の悩みは、深刻じゃない 支援へのつながりづらさ

若年層の女性を対象に、困りごとやそれを相談できていたかを札幌市で調査したところ、経済的困窮、DV、性的搾取等、明らかに支援が必要である状況でも、困難に直面しているとは気付いておらず、相談していない、また、相談先として公的機関を認識していないことがわかりました。支援につながるためには、これまでにない積極的なアプローチが必要でした。



積極的に支援につなげるために

「LINK」では、繁華街の夜回りやSNSを用いたネットパトロールを行っています。気軽に相談できるよう、雑談を交えて「何かあったら連絡して」「LINEで、匿名で相談できるよ」と相談先のカードを渡します。SNS相談では、女性たちから「交際相手から暴力があるんだけど、これって普通のこと?」等のメッセージが届くこともあり、それに対して、「暴力や暴言があるのは、普通のことじゃないよ」と伝えると、「そうなんだ」と気付いてくれることがあります。



支援団体とのネットワークを活かした支援

相談内容は、家庭環境、暴力、貧困、性的なこと、妊娠等多岐にわたります。複数の困難をいくつも抱え、精神的に不安定で、死にたいという思いが強い方も多く、専門的な支援が欠かせません。

「LINK」とは別に、札幌市男女共同参画センターでは、民間団体と一緒にCloudy(クラウドイ)という若年女性支援ネットワークを立ち上げており、普段から情報共有等を行っているため、より専門的な知識が必要となる際には、各団体の協力を得て、相談者の状況に応じた支援を進めています。



相談しやすい社会をつくるために

「こんなことで相談しちゃいけない」という女の子がすごく多いのですが、背後にはネット等での女性に対する「甘えじゃないか」等の批判の声があると感じます。一部の声を社会全体の声と捉え、助けを求めたら責められるという恐怖から、必要な支援につながりづらくなっているのではないかと思います。「困った時は誰かに頼れる」社会になるには、一人ひとりがまず困っている女の子たちの声に耳を傾けることが大切だと思います。



「みんと」の支援について教えて！

専門知識を持った相談支援員が、お話をお聴きして課題を明らかにし、様々な福祉サービスや地域の資源の中から解決に向けて利用できるものを一緒に考えます。DV被害者支援で培ってきたノウハウや支援機関・民間団体とのつながりを活かし、一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな伴走支援を目指します。

どんなことを相談できるの？

自分が抱えている困難をうまく説明できなくても、まずは相談を。将来的に問題を抱える状況になる可能性がある人も、サポートが受けられます。

- ✦ 暴力・虐待・性被害
- ✦ 生活困窮
- ✦ 思いがけない妊娠
- ✦ 性的搾取
- ✦ 居場所がない 等

どんな支援を受けられるの？

- ✦ 電話・来所相談（またはほかの相談機関の紹介）
- ✦ カウンセリング、弁護士・精神科医による相談
- ✦ 緊急時における安全確保に向けた支援
- ✦ 福祉施策の情報提供、住居・就労等の自立支援

必要に応じて同行支援をします！

🔄 「みんと」の連絡先は裏表紙「きょうとの相談窓口一覧」に掲載しています



困難を抱える女性のために、周囲ができることは？

皆さんの周りに家族や生活の問題を抱えてつらそうな女性はいませんか？大変な状況でも、本人はその状況に慣れてしまい「相談していい」ということすら浮かばない方も多です。そのような方がいたら、そっと「専門の人に相談してみたら？」と相談機関を勧めてみてください。その一言で支援につながり、生きることが楽になる方がいるかもしれません。

関連ワード

同行支援

区役所、裁判所、警察などでの行政手続きや司法手続きにつきそいます。

学習支援

家庭での学習環境が整にくい子どもの学習習慣づくりや進学をサポートします。

生活訓練

障害のある方が自立した生活を送るために、食事やお金、体調管理、人との交流などの生活能力を身につけます。

子ども食堂・カフェ

無料または安価で安心して食事を楽しむことができ、地域の人々とのつながりも深められる居場所です。

関係機関と連携！相談者に寄り添い支援する

京都市女性のための相談支援センター「みんと」



女性支援法とは？

「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」（令和6年4月施行）は、女性の福祉に特化した初めての法律です。全ての女性の人権が尊重され、安心かつ、自立して暮らせる社会の実現に向けた支援の枠組みを強化するためにつくられました。



ミントの花言葉
元氣回復

“相談してみんと”
“やってみんと”



なぜ、女性に特化した支援が必要なの？

社会には、性別に関わらず困難を抱えている方がたくさんおられます。ですが、女性は女性であることで、様々な困難に直面しやすい状況にあります。

男性優位の根強い性別役割分担意識が存在する社会では、女性は暴力や性的被害に遭いやすく、出産、育児により就業が途切れやすく不安定にならざるを得ない状況があります。これらを背景に、予期せぬ妊娠、生活困窮、DV、性暴力、性的搾取等、様々な困難を抱える女性は少なくありません。

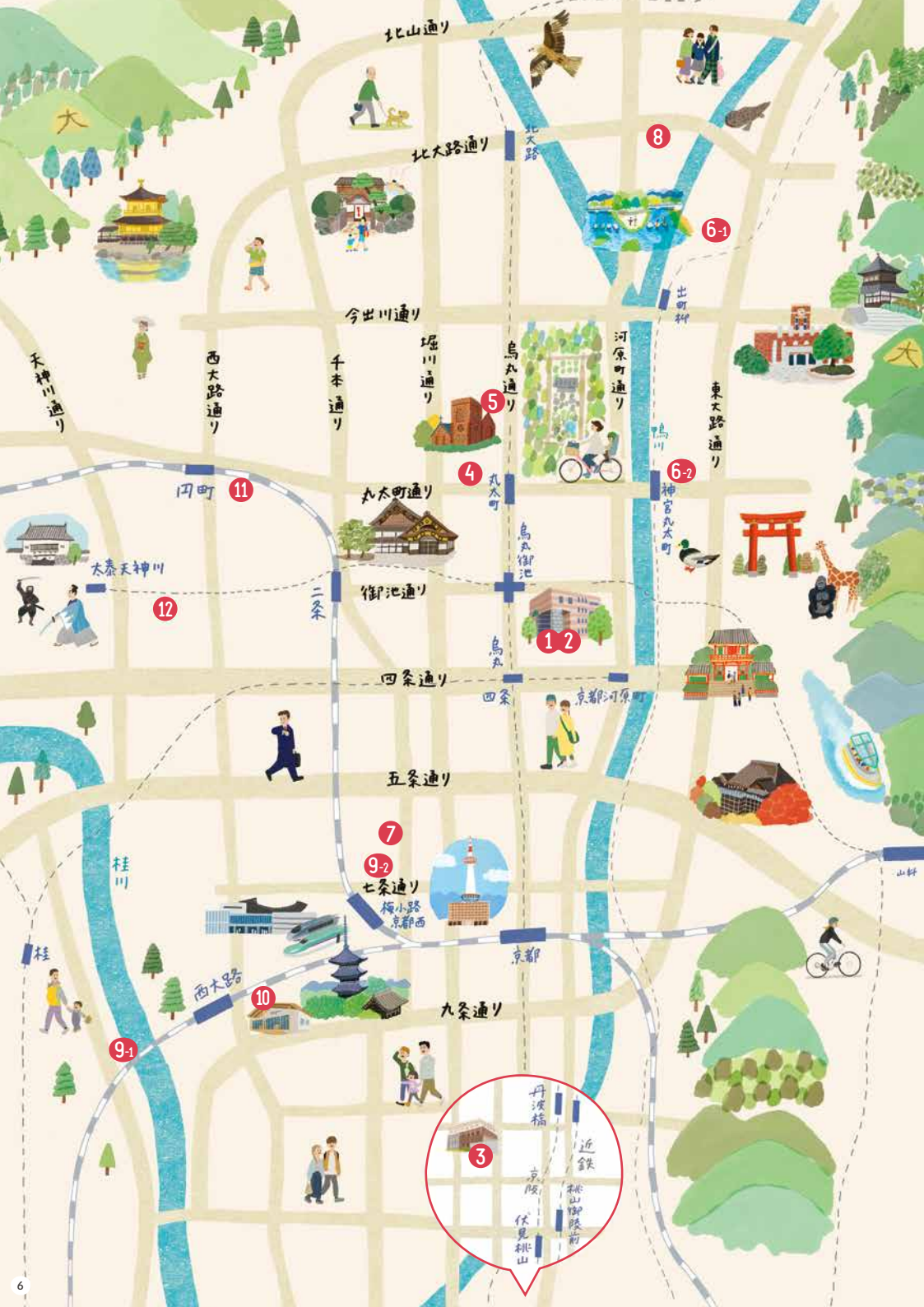


女性支援の場はどう変わるの？

行政、関係機関、民間団体が対等な関係で連携し、本人中心の、包括的でより適切な支援を目指します。また、支援全体をコーディネートする「女性相談支援員」が、相談から自立までの支援体制を整えます。多機関の連携により、支援を必要としている女性の早期発見・支援につなげるのが可能になります。

どんな支援があるの？
頼れる!! 京都の支援

4月に施行された「女性支援法」を機に、女性の自立支援の拠点として、新たに開所した「京都市女性のための相談支援センター（愛称：みんと）」について、京都市の女性相談支援員にお話を伺いました。



女性のための居場所MAP

困ったときに立ち寄れる



- 1** 京都市男女共同参画センター ウィングス京都
女性のための相談／トラウマ・ケアの読書会

#相談 #講座 #グループ #DV・性暴力


- 2** 京都市中央青少年活動センター／なかせいカフェ

#若者 #相談 #学習支援 #カフェ


- 3** 京都市伏見青少年活動センター／京都ユースクリニック

#若者 #相談 #学習支援 #子ども食堂


- 4** ウィメンズカウンセリング京都

#相談 #講座 #グループ #DV・性暴力


- 5** 京都YWCA／APT・カルーナ・YここKitchen

#若者 #外国人 #相談 #子ども食堂・カフェ


- 6** 京都わかかさねっと／わかさりリビング (6-1)
わかさカフェ × HOSTEL NINIROOM (6-2)

#若者 #親子 #子ども食堂・カフェ #短期宿泊


- 7** NPO 法人 京都マック

#相談 #依存症回復 #生活訓練 #グループ


- 8** NPO 法人 暮らしのコツ研究所／この葉 .lab

#講座 #DV・性暴力 #カフェ


- 9** NPO法人コミュニティ・スペース sacula (9-1)
すずなりランタン (9-2)

#若者 #子ども #相談 #子ども食堂・カフェ #短期宿泊


- 10** NPO 法人 happiness

#親子 #若者 #子ども食堂・カフェ #短期宿泊 #同行支援


- 11** NPO 法人 Reframe／居場所くらら庵・ゆらり庵

#子ども #若者 #相談 #子ども食堂 #食材提供



- 12** 野菊荘／こもれび

#母子 #子ども #相談 #食材提供



京都市情報館にも掲載しています。

家族や友人との関係が苦しい。安心できる場所まで過ごしたい。胸につかえていることを誰かに話したい：困ったときに気軽に立ち寄れる、京都のまちの居場所を紹介します。



あなたの力になります！

きょうとの相談窓口一覧



▼ 困難な問題を抱える女性を支援します！

♡ 京都市女性のための相談支援センター「みんと」

電話 075-874-6312 月～土 9:00～17:15 ※日・祝・12/29～1/3を除く

▼ 日常生活のさまざまな悩み

♡ ウィングス京都相談室

電話 075-212-7830 月・木・金・土 10:00～17:00 ※水・日・祝・12/29～1/3を除く
火 10:00～20:00

▼ 仕事・暮らしのことで困ったら

♡ 京都市生活福祉課 自立支援担当

電話 075-251-2525 月～金 8:45～12:00, 13:00～17:00 ※土・日・祝・12/29～1/3を除く

■ 京都市DV相談支援センター 電話 075-874-4971 月～土 9:00～17:15

※日・祝・12/29～1/3を除く

緊急ホットライン 075-874-7051 (相談受付時間外の緊急時はこちらへ)

■ 京都性暴力被害者ワンストップ相談支援センター 京都SARA(サラ)

電話 075-222-7711 #8891 (全国共通短縮番号) (年中無休) 24時間

※22時～翌10時は内閣府が設置する夜間休日対応コールセンターにつながります

■ 京都市子ども・若者総合相談窓口(39歳まで)

電話 075-708-5440 月～土 10:00～20:00 日・祝 10:00～17:00 ※水・12/29～1/3を除く

■ 京都市ひとり親家庭支援センター ゆめあす 電話 075-708-7750 10:00～18:00

※火・祝・12/28～1/4を除く

■ 京都府家庭支援総合センター
(女性相談支援センター)

(年中無休)

電話 075-531-9910 9:00～20:00

■ チャットルーム「ここはな」
京都府女性のための無料チャット相談

月～土 19:00～21:00 ※12/30～1/3を除く



京都市男女共同参画センター ウィングス京都

〒604-8147

京都市中京区東洞院通六角下る御射山町 262

TEL: 075-212-7490 FAX: 075-212-7460

<https://www.wings-kyoto.jp/>

研修・
授業等で



男女共同参画通信
を配りませんか？

オンラインショップから
ご注文いただけます！



バックナンバーが
PDFで読めます！



[企画・編集] 公益財団法人 京都市男女共同参画推進協会 [デザイン] 早川宏美

[発行] 京都市文化市民局共生社会推進室男女共同参画推進担当 令和6年10月 京都市印刷物第063107号